

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成27年11月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第38期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社アミューズ |
| 【英訳名】 | AMUSE INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 畠中 達郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都渋谷区桜丘町20番1号 |
| 【電話番号】 | (03)5457-3333 |
| 【事務連絡者氏名】 | 代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都渋谷区桜丘町20番1号 |
| 【電話番号】 | (03)5457-3333 |
| 【事務連絡者氏名】 | 代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第37期 第2四半期連結 累計期間 | 第38期 第2四半期連結 累計期間 | 第37期 |
|------------------------------|------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | | 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日 | 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日 | 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 |
| 営業収入 | (千円) | 21,078,570 | 30,579,942 | 39,208,153 |
| 経常利益 | (千円) | 2,654,711 | 5,176,467 | 4,067,238 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益 | (千円) | 1,670,809 | 3,325,659 | 2,671,711 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 1,712,260 | 3,445,705 | 2,864,993 |
| 純資産額 | (千円) | 18,794,361 | 24,315,834 | 21,174,824 |
| 総資産額 | (千円) | 28,689,553 | 38,835,906 | 29,572,857 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額 | (円) | 193.54 | 385.32 | 309.50 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 | (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 | (%) | 63.6 | 57.4 | 65.0 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 2,185,655 | 9,419,973 | 3,598,205 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 349,580 | 2,248,967 | 407,201 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 137,236 | 239,248 | 1,086,684 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 | (千円) | 9,444,666 | 18,406,172 | 11,327,663 |

| 回次 | | 第37期 第2四半期連結 会計期間 | 第38期 第2四半期連結 会計期間 |
|---------------|-----|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | | 自平成26年7月1日 至平成26年9月30日 | 自平成27年7月1日 至平成27年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 83.79 | 179.86 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収入には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

(アーティストマネジメント事業)

Amuse Korea Inc.は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、新たに株式取得いたしましたCROONER P.T.E.L.T.D.は、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(プレイスマネジメント事業)

ブラッセルズ㈱は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(コンテンツ事業)

㈱エアーズは、平成27年2月に解散を決議し、平成27年5月に清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

（1）業績の状況

（当第2四半期連結累計期間の経営成績）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日） | 増減 | 増減率 （％） |
|----------------------|---|---|-------|------------|
| 営業収入 | 21,078 | 30,579 | 9,501 | 45.1 |
| 営業利益 | 2,571 | 5,147 | 2,575 | 100.1 |
| 経常利益 | 2,654 | 5,176 | 2,521 | 95.0 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 1,670 | 3,325 | 1,654 | 99.0 |

【経済状況】

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、政府、日銀による継続した各種政策効果もあり、企業収益の改善や設備投資の持ち直しに加え、雇用や所得環境も改善傾向が続くなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人消費の回復遅れや中国経済の減速懸念など、依然景気を下押しするリスクも多く留意すべき状況が続いております。

【当社グループの事業概況】

当社グループの経営成績は営業収入305億7千9百万円（前年同四半期比45.1%増）、営業利益51億4千7百万円（前年同四半期比100.1%増）、経常利益51億7千6百万円（前年同四半期比95.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益33億2千5百万円（前年同四半期比99.0%増）となり、大型コンサートの実施により会場やオンラインショップで販売するグッズ販売収入も含め、音楽パッケージ販売、印税収入（新譜）などが好調に推移し、増収となり大幅な増益となりました。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストによるイベント収入（大型コンサート）が増加
- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が増加
- ・ 印税収入（新譜）が増加

上記要因などにより増収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネジメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネジメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(営業収入)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 増減 | 増減率 (%) |
|----------------|---|---|-------|------------|
| アーティストマネジメント事業 | 16,764 | 26,289 | 9,524 | 56.8 |
| メディアビジュアル事業 | 2,973 | 1,381 | 1,592 | 53.5 |
| コンテンツ事業 | 1,278 | 1,292 | 14 | 1.1 |
| プレイスマネジメント事業 | 62 | 1,616 | 1,554 | - |
| 合計 | 21,078 | 30,579 | 9,501 | 45.1 |

(セグメント利益又は損失())

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 増減 | 増減率 (%) |
|----------------|---|---|-------|------------|
| アーティストマネジメント事業 | 2,454 | 5,058 | 2,603 | 106.1 |
| メディアビジュアル事業 | 142 | 143 | 1 | 1.3 |
| コンテンツ事業 | 413 | 498 | 85 | 20.6 |
| プレイスマネジメント事業 | 4 | 67 | 71 | - |
| 調整額 | 442 | 485 | 43 | - |
| 合計 | 2,571 | 5,147 | 2,575 | 100.1 |

【アーティストマネジメント事業】

営業収入262億8千9百万円(前年同四半期比56.8%増)、セグメント利益50億5千8百万円(前年同四半期比106.1%増)となり、増収、大幅増益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入：<コンサート>
サザンオールスターズ(4-8月)、ONE OK ROCK(5-9月)のコンサートツアー
福山雅治のスタジアムライブ(8月)、SEKAI NO OWARIスタジアムライブ(7月)
Perfumeのアニバーサリーライブ(9月)
BABYMETALのWORLD TOUR日本公演(6月)
flumpoolの野外ライブ(8月)
星野源、Maydayの武道館ライブ(8月)
3年目となった当社音楽アーティストが一堂に会した野外イベント
「Amuse Fes 2015 BBQ in つま恋」(7月)
- <舞台・公演>
TEAM NACS第15回公演「悪童」(7-9月)
熱海五郎一座「プリティウーマンの勝手にボディガード」(6月)
- ・ 商品売上収入：コンサートグッズ、福山雅治(アルバム・シングルCD、ライブDVD)
ONE OK ROCK(ライブDVD)
- ・ 印税収入(新譜)：サザンオールスターズ(アルバムCD)、Perfume(ライブDVD)、
BABYMETAL(ライブDVD)
- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、深津絵里、吉高由里子、佐藤健、三浦春馬など

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートの実施)が増加
(前年同四半期は福山雅治(4-6月)、Perfume(8-9月)、flumpool(4-8月)の
コンサートツアー、熱海五郎一座(6月)、黒執事(9月)などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が増加
(前年同四半期はコンサートグッズ、flumpoolアルバムCDなど)
- ・ 印税収入(新譜)が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

〔メディアビジュアル事業〕

営業収入13億8千1百万円（前年同四半期比53.5%減）、セグメント利益1億4千3百万円（前年同四半期比1.3%増）となり、減収増益となりました。

〔主な事業〕

- ・ 映像作品販売収入：「美女と野獣」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入：佐藤健主演映画「るろうに剣心 京都大火編 / 伝説の最期編」劇場配給、DVD販売分配収入
「美女と野獣」劇場配給分配収入など

<営業収入>

- ・ 大型作品の減少
（前年同四半期は「永遠の0」（7月）、「そして父になる」（4月）、「カノジョは嘘を愛しすぎてる」（6月）などを販売）
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

劇場配給分配収入の増加などもあり若干の増益となりました。

〔コンテンツ事業〕

営業収入12億9千2百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益4億9千8百万円（前年同四半期比20.6%増）となり、増収増益となりました。

〔主な事業〕

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

原盤印税の増加により若干の増収となりました。

<セグメント利益>

上記要因などにより増益となりました。

〔プレイスマネージメント事業〕

営業収入16億1千6百万円（前年同四半期に比べ、15億5千4百万円の増収）、セグメント損失6千7百万円（前年同四半期は4百万円のセグメント利益）となり、増収減益となりました。

〔主な事業〕

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入により増収となりました。

<セグメント利益又は損失>

東京ワンピースタワーの入場料収入が低調であったため減益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ70億7千8百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には184億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日） | 増減 |
|------------------|---|---|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,185 | 9,419 | 7,234 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 349 | 2,248 | 2,598 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 137 | 239 | 102 |

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は94億1千9百万円（前年同四半期は21億8千5百万円の獲得）となりました。

これは、主に営業債権の増加による資金減少要因等はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は22億4千8百万円（前年同四半期は3億4千9百万円の獲得）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得及び定期預金の預入による資金減少要因等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億3千9百万円（前年同四半期は1億3千7百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 37,247,040 |
| 計 | 37,247,040 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 9,311,760 | 9,311,760 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 9,311,760 | 9,311,760 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|--------------------------|-------------------|--------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成27年7月1日～ 平成27年9月30日 | - | 9,311,760 | - | 1,587,825 | - | 1,694,890 |

(6)【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|--|---|---------------|--------------------------------|
| 株式会社オオサト | 東京都世田谷区下馬4丁目22番2号 | 2,335.10 | 25.08 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海1丁目8番11号 | 337.70 | 3.63 |
| 日本スタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 東京都港区浜松町2丁目11番3号 | 226.50 | 2.43 |
| 大里 洋吉 | 東京都世田谷区 | 225.48 | 2.42 |
| 大里 久仁子 | 東京都世田谷区 | 218.56 | 2.35 |
| アミューズアーティスト持株会 | 東京都渋谷区桜丘町20番1号 | 211.82 | 2.27 |
| MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタ ンレーMUF G証券株式会社) | 1585 Broadway New York, New York 10036, U.S.A (東京都千代田区大手町1丁目9番7号) | 157.30 | 1.69 |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・ サックス証券株式会社) | 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB, UK (東京都港区六本木6丁目10番1号) | 143.48 | 1.54 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 129.60 | 1.39 |
| カルチュア・コンビニエンス・ クラブ株式会社 | 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番25号 | 118.80 | 1.28 |
| 計 | - | 4,104.35 | 44.08 |

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)、日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち信託業務に係る株式数は、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)337.70千株、日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)226.50千株であります。
2. 上記のほか、自己株式が681.06千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成27年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 681,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 8,479,200 | 84,792 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 151,560 | - | - |
| 発行済株式総数 | 9,311,760 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 84,792 | - |

(注)「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%) |
|------------|--------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------------------------|
| 株式会社アミューズ | 東京都渋谷区桜丘町 20番1号 | 681,000 | - | 681,000 | 7.31 |
| 計 | - | 681,000 | - | 681,000 | 7.31 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,356,438 | 20,435,416 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 4,406,438 | 5,446,519 |
| 商品及び製品 | 1,075,197 | 1,536,909 |
| 仕掛品 | 1,202,381 | 1,395,701 |
| 貯蔵品 | 47,147 | 78,403 |
| その他 | 2,133,432 | 1,229,234 |
| 貸倒引当金 | 118,190 | 111,363 |
| 流動資産合計 | 21,102,845 | 30,010,820 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 2,212,329 | 2,077,548 |
| 土地 | 1,606,621 | 1,610,300 |
| その他(純額) | 983,136 | 934,217 |
| 有形固定資産合計 | 4,802,087 | 4,622,066 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | - | 308,323 |
| その他 | 210,916 | 188,255 |
| 無形固定資産合計 | 210,916 | 496,578 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,236,264 | 1,346,396 |
| その他 | 2,052,518 | 2,209,320 |
| 貸倒引当金 | 3,809 | 3,815 |
| 投資その他の資産合計 | 3,284,973 | 3,551,902 |
| 固定資産合計 | 8,297,977 | 8,670,546 |
| 繰延資産 | | |
| 開業費 | 172,034 | 154,539 |
| 繰延資産合計 | 172,034 | 154,539 |
| 資産合計 | 29,572,857 | 38,835,906 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 5,258,027 | 10,288,491 |
| 未払法人税等 | 249,561 | 1,829,655 |
| 役員賞与引当金 | 31,000 | - |
| 返品調整引当金 | 14,900 | 3,300 |
| ポイント引当金 | 489 | 15,672 |
| その他 | 1,871,533 | 1,346,831 |
| 流動負債合計 | 7,425,511 | 13,483,950 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 16,308 | 16,308 |
| 退職給付に係る負債 | 915,437 | 969,739 |
| その他 | 40,775 | 50,072 |
| 固定負債合計 | 972,521 | 1,036,121 |
| 負債合計 | 8,398,033 | 14,520,072 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,587,825 | 1,587,825 |
| 資本剰余金 | 1,694,950 | 1,694,950 |
| 利益剰余金 | 16,820,538 | 19,861,946 |
| 自己株式 | 929,731 | 932,912 |
| 株主資本合計 | 19,173,582 | 22,211,808 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41,787 | 34,882 |
| 為替換算調整勘定 | 21,240 | 38,430 |
| その他の包括利益累計額合計 | 63,027 | 73,312 |
| 非支配株主持分 | 1,938,214 | 2,030,712 |
| 純資産合計 | 21,174,824 | 24,315,834 |
| 負債純資産合計 | 29,572,857 | 38,835,906 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 営業収入 | 21,078,570 | 30,579,942 |
| 営業原価 | 16,615,947 | 23,289,291 |
| 営業総利益 | 4,462,623 | 7,290,650 |
| 返品調整引当金繰入額 | 1,200 | - |
| 返品調整引当金戻入額 | - | 11,600 |
| 差引営業総利益 | 4,461,423 | 7,302,250 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,889,674 | 2,154,989 |
| 営業利益 | 2,571,748 | 5,147,261 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,126 | 5,156 |
| 受取配当金 | 15,145 | 6,242 |
| 為替差益 | 41,535 | - |
| 受取手数料 | 7,333 | 8,237 |
| 事業組合投資利益 | 48,701 | - |
| 持分法による投資利益 | - | 77,397 |
| その他 | 2,985 | 14,893 |
| 営業外収益合計 | 119,826 | 111,927 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | - | 81,998 |
| 持分法による投資損失 | 36,340 | - |
| 固定資産除却損 | 287 | 370 |
| 事業組合投資損失 | - | 174 |
| その他 | 235 | 177 |
| 営業外費用合計 | 36,863 | 82,721 |
| 経常利益 | 2,654,711 | 5,176,467 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,654,711 | 5,176,467 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,031,920 | 1,789,817 |
| 法人税等調整額 | 64,544 | 48,770 |
| 法人税等合計 | 967,375 | 1,741,047 |
| 四半期純利益 | 1,687,336 | 3,435,420 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 16,526 | 109,760 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,670,809 | 3,325,659 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,687,336 | 3,435,420 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,130 | 6,905 |
| 為替換算調整勘定 | 18,794 | 17,190 |
| その他の包括利益合計 | 24,924 | 10,284 |
| 四半期包括利益 | 1,712,260 | 3,445,705 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,695,734 | 3,335,944 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 16,526 | 109,760 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,654,711 | 5,176,467 |
| 減価償却費 | 102,415 | 312,859 |
| のれん償却額 | - | 14,208 |
| 繰延資産償却額 | - | 17,494 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 37,617 | 8,502 |
| 役員賞与引当金の増減額(は減少) | 25,000 | 31,000 |
| 返品調整引当金の増減額(は減少) | 1,200 | 11,600 |
| ポイント引当金の増減額(は減少) | - | 15,183 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 46,983 | 42,454 |
| 受取利息及び受取配当金 | 19,272 | 11,398 |
| 持分法による投資損益(は益) | 36,340 | 77,397 |
| 事業組合投資損益(は益) | 48,701 | 174 |
| 固定資産除却損 | 287 | 370 |
| 営業債権の増減額(は増加) | 1,114,358 | 924,200 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 301,672 | 666,846 |
| 営業債務の増減額(は減少) | 1,919,735 | 5,022,090 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 72,527 | 93,932 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 891,124 | 194,532 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 9,006 | 45,636 |
| その他 | 238,267 | 29,376 |
| 小計 | 2,845,774 | 9,175,083 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10,826 | 9,590 |
| 法人税等の支払額 | 692,833 | 248,457 |
| 法人税等の還付額 | 21,889 | 483,757 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,185,655 | 9,419,973 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 1,500,000 | 2,000,468 |
| 定期預金の払戻による収入 | 2,500,936 | 1,000,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 183,608 | 677,018 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 49,342 | 63,958 |
| 子会社株式の取得による支出 | 200,459 | 355,216 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出 | - | 356,458 |
| 貸付けによる支出 | 227,620 | 1,173 |
| 貸付金の回収による収入 | 12,729 | 188,080 |
| その他 | 3,055 | 17,244 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 349,580 | 2,248,967 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | 2,098 | 3,181 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 73,500 | - |
| 配当金の支払額 | 192,974 | 215,026 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | 10,944 | 17,262 |
| その他 | 4,718 | 3,779 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 137,236 | 239,248 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 22,265 | 14,193 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 2,420,265 | 6,917,564 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,024,401 | 11,327,663 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | - | 160,944 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,444,666 | 18,406,172 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間よりAmuse Korea Inc.及びブラッセルズ㈱の2社は重要性が増したため連結の範囲に含めており、当第2四半期連結会計期間より新たに株式取得いたしましたCROONER PTE. LTD.を連結の範囲に含めております。

また、㈱エアーズは、平成27年2月に解散を決議し、平成27年5月に清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|------------|---|---|
| 退職給付費用 | 15,238千円 | 10,306千円 |
| 貸倒引当金繰入額 | 37,868 | 8,502 |
| ポイント引当金繰入額 | - | 15,183 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 11,468,849千円 | 20,435,416千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 | 2,024,182 | 2,029,243 |
| 現金及び現金同等物 | 9,444,666 | 18,406,172 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成26年6月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 194,247 | 22.5 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月23日 | 利益剰余金 |

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 15円 記念配当 7.5円

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成26年11月13日 取締役会 | 普通株式 | 129,485 | 15.0 | 平成26年9月30日 | 平成26年12月5日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成27年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 215,787 | 25.0 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月29日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成27年11月13日 取締役会 | 普通株式 | 172,614 | 20.0 | 平成27年9月30日 | 平成27年12月4日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|----------------------------|-------------------------|---------------------|-------------|-----------------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | アーティスト マネージメント 事業 | メディア ビジュアル 事業 | コンテンツ 事業 | プレイス マネージメント 事業 | 計 | | |
| 営業収入 | | | | | | | |
| 外部顧客への 営業収入 | 16,764,358 | 2,973,307 | 1,278,870 | 62,034 | 21,078,570 | - | 21,078,570 |
| セグメント間 の内部営業収 入又は振替高 | 40,795 | 128,591 | 64,459 | 26,748 | 260,594 | 260,594 | - |
| 計 | 16,805,154 | 3,101,898 | 1,343,329 | 88,782 | 21,339,164 | 260,594 | 21,078,570 |
| セグメント利益 | 2,454,632 | 142,175 | 413,120 | 4,439 | 3,014,368 | 442,620 | 2,571,748 |

(注)1. セグメント利益の調整額 442,620千円には、セグメント間取引消去7,748千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 450,368千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|----------------------------|-------------------------|---------------------|-------------|-----------------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | アーティスト マネージメント 事業 | メディア ビジュアル 事業 | コンテンツ 事業 | プレイス マネージメント 事業 | 計 | | |
| 営業収入 | | | | | | | |
| 外部顧客への 営業収入 | 26,289,170 | 1,381,195 | 1,292,973 | 1,616,602 | 30,579,942 | - | 30,579,942 |
| セグメント間 の内部営業収 入又は振替高 | 39,130 | 107,995 | 109,359 | 31,752 | 288,238 | 288,238 | - |
| 計 | 26,328,301 | 1,489,190 | 1,402,333 | 1,648,355 | 30,868,180 | 288,238 | 30,579,942 |
| セグメント利益 又は損失() | 5,058,608 | 143,975 | 498,207 | 67,540 | 5,633,249 | 485,988 | 5,147,261 |

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 485,988千円には、セグメント間取引消去5,129千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 491,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アーティストマネージメント事業」において、CROONER P.T.E.L.T.D.の株式を取得したことにより
のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は、347,937千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネージメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 CROONER PTE.LTD.

事業の内容 マーケティング、コミュニケーションプランニング、イベント企画、コンテンツ販売

(2) 企業結合を行った主な理由

総合エンターテインメント事業を展開する当社は、音楽を始めとする様々なエンターテインメントコンテンツの創出に取り組んでおります。そのような中、以前よりアジアにおける事業展開を目指しており、平成24年にはシンガポール支店を設立し、当社所属アーティストの東南アジアでの展開の支援や事業開発、マーケットの情報収集や情報発信などに取り組み、平成26年には現地法人化しました。

CROONER PTE.LTD.はシンガポールを拠点とし、東南アジアにおいて各種イベントの企画開発、日本のコンテンツのローカライズ、その他各種マーケティングに携わり、国内外において非常に豊富なネットワークを築いております。この度同社を子会社化することで、今後さらに成長が見込まれる東南アジアにおける当社のエンターテインメント事業をより発展拡大させると同時に、新しいエンターテインメントコンテンツの創出を可能にすると判断いたしました。

(3) 企業結合日

平成27年7月27日(みなし取得日:平成27年7月1日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社が、現金を対価として株式を取得したことによります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成27年7月1日から平成27年9月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|--------|-----------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 360,122千円 |
| 取得原価 | | 360,122 |

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

347,937千円

(2) 発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額に対して超過した差額を、のれんとして計上しております。

(3) 償却方法及び償却期間

6年間にわたる均等償却

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日) |
|--------------------------------------|---|---|
| 1 株当たり四半期純利益金額 | 193円54銭 | 385円32銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円) | 1,670,809 | 3,325,659 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円) | 1,670,809 | 3,325,659 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 8,632,922 | 8,630,981 |

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成27年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....172,614千円

(ロ) 1 株当たりの金額.....20円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成27年12月 4 日

(注) 平成27年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月13日

株式会社アミューズ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 百井 俊次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アミューズの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アミューズ及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。